

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 10 月 9 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472501562		
法人名	医療法人社団あんず会本田クリニック		
事業所名	グループホーム金泉		
所在地	〒739-2402 広島県東広島市安芸津町三津4333-1  (電話) 0846-46-1080		
自己評価作成日	平成24年8月9日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成24年9月3日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>・ホーム内より外の景色を楽しめるサンルームを設置し、車椅子も自由に動ける活動スペース</li><li>・季節ごとに催し物を開催し、共有する時間や楽しむ機会を設けている</li><li>・毎日の体操と屋外に出て外気に触れる機会を積極的に作っている</li><li>・食材の買い物に出掛け、調理から片付けまで一緒に行っている</li></ul>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホーム金泉（以下、ホーム）は、地域に古くからあった造り酒屋の跡地に建てられています。広い敷地には、通所介護事業所、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所が併設され、入居者が安心な場所で笑って過ごせるようお互いに協力し合い、入居者同士の交流を図っています。母体である医療法人は、受診から緊急時の対応まで医療面での支援を担い、加齢に伴う認知症の進行への対応にも連携して取り組んでいます。日頃から地域交流を綿密に行い、ホームの金泉祭りや地域行事を通じてお互いに行き来し、小、中、高校生に福祉体験の場を提供するなど、地域に開かれたホームとしてできることを協力されています。ホームでは、喫緊の課題である職員の確保と定着支援のための取り組みに努めておられます。また、ホームの情報発信としてホームページを開設し、入居者と地域の人たちとの交流の様子が定期的に更新されています。</p>
---

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(1ユニット)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	改めて理念を作り、見える所へ掲示等している。 会議等で復唱、確認している。	理念「安心、信頼、笑顔」は、独自の理念をつくりたいという職員の意見を取り入れて、ホームのめざす入居者主体の支援をわかりやすい言葉で作り直されたものです。理念は、誰もが目につく場所に掲示され、理念の共有と確認を図っています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事(祭り、環境整備等)に積極的に参加。 車椅子の無償貸し出しを行っている。	ホームは、開設当初から町内会の一員として、地域行事の手伝いや参加、また、ホームの一大行事である金泉祭りなどを通じて日頃から行き来しながら交流されています。災害時の避難場所提供などホームとしてできることは積極的に行い、地域とのつながりを大切にされています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	定期開催の運営推進会議に参加して頂いている。 地域の方が行事に協力などして下さり、理解に努めて頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の会議録を開示し、入居者・家族に知らせている。	会議には、家族、地域包括支援センター職員、町内会役員等が参加しています。ホームからは、取組みに関する報告等を行い、参加者からは、地域行事や災害時の対応、認知症サポーター養成講座に関する意見が出され、地域密着型事業所の良さを活かした意見交換の場となっています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括会議に出席して頂いており、連携など行っている。 又、分からない事等は行政に伺い、正しい情報を得るようにしている。	定期的に地域包括支援センターによる会議が開催され、出席されています。会議では、必要な助言をもらったり、町内の関係事業所等との情報交換が行われています。	ホームの課題である職員の確保や定着、養成の工夫や方策について、今後は、地域包括支援センターや地域の社会福祉協議会等の協力を得ながら、法人全体で取り組まれることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月1回「身体拘束禁止」の会議を実施し、常に意識をもってケアに努めている。午前7時～午後8時まで、玄関開錠し、気候のよい時期は玄関の開け放し、エレベーター使用も自由。また、勝手口など、日中は全て開錠。</p>	<p>玄関等は、日中開放され、入居者は自由に行動できます。行動を制限しない支援に努め、不穏な行動のある入居者には職員がマンツーマンで対応されています。敷地内のデイサービスや居宅介護支援事業所と協力しながら安全確保に努めています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会を行い、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度を利用されている方もおられるため、勉強会を行い、理解に努めている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>意見等伺う中で、話し合いを行い、理解・納得をして頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時、家族に金居報告等する中で、要望も伺い、迅速に対応できるよう努めている。</p>	<p>家族の面会時に、会話の時間を設けるよう心がけておられます。家族の意見を受けて、職員の顔と名前がよく分るように顔写真付きの一覧を玄関に掲示したり、家族間交流を目的とした茶話会を定期的実施されたり、できることから対応されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	面接を設け、意見を聞いている。 また、月に1回代表者会意義を開催し、意見交換を行っている。	職員の意見交換の場として、定例会を設けておられます。最近では、職員の要望を受けて休憩時間をゆっくり過ごすための部屋の確保が実現しています。 ホームでは、新人職員が多いこともあり、管理者は個々の面談の時間を多めにとるよう取り組まれています。	新人職員が意見を出しやすい環境づくりとして、先輩職員とのコミュニケーションの場面を増やす等、法人全体でも職員の定着のための取り組みを期待します。
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	最低でも月2回面接を設け、仕事の悩みや思い、また個人の目標を決定し、一緒に向上できるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	勉強会や外部研修への参加を勧めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	包括との交流。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	個別に関わる時間を多く設けている。 センター方式、24時間焦点シートを30日間記録し、ケアに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時、情報収集等のための時間を取っている。また、センター方式の一部を家族に協力して頂いている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>必要とされる事に対し柔軟な対応ができる。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人の意見を尊重できるように共働している。毎日の食材の買い物、調理、片付けなど一緒に行い、昼食なども全員で食べている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>茶話会や、行事等に参加して頂き、お互い協力し合える関係作りを築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの病院や美容院などを利用している。友人も面会に来られる。</p>	<p>畑仕事など土に親しんだ習慣を継続できるよう敷地内菜園が利用できます。訪問美容の利用や行きつけの美容院に出かける入居者もいます。また、友人や身内の訪問もあり、楽しい時間を過ごすなど、馴染み関係が途切れない支援に努められています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関わりも大切にしている。気のおける者同士で部屋を行き来したり、入浴したりする。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じ対応している。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個人が主体となり、楽しく、充実して暮らせるように努めている。 センター方式を活用。	詳細に記述できるセンター方式シートの活用や家族からの聞き取りをしながら、新しい情報を更新されています。情報は、日々変化する入居者の支援に活かされています。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式の必要なポイントを活用し、努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	業務日誌、個別生活記録を考え入れ、また1日のスケジュールや会議等で状況の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>定期的カンファレンス、モニタリングを行っている。</p> <p>本人、家族の希望等を伺い、その他介護職員の意見等参考に作成している。</p>	<p>家族の意見や要望は、面会や茶話会、会議への出席の機会を通じて把握され、必要に応じて介護計画に反映されています。</p> <p>モニタリングは3か月ごとに行われ、入居者の現状に合った支援につながるよう計画の見直しが行われています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎月評価を行い、見直しを検討。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その時々、ニーズに対応し、同敷地内のデイサービスの温泉、ウォーターベット等利用している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>訪問歯科、出張散髪、パン売り(車)、食糧売り(車)など活用し、その時のニーズに対応している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>週1回主治医の往診、入居者独自の掛かり付けへ受診している。</p>	<p>法人の医師と連携しながら、協力病院で必要な受診と健康管理が行われています。また、緊急時や容態の変化にも適切に対応できるよう体制が整えられています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>必要時には報告、相談し、アドバイスを得ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は担当医、看護師からの情報交換などを密にとっている。 その他、地域連携室との関係作りに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>高齢に伴い、今後どのように終末期を向かえるか等、必要に応じ、早い段階で十分話し合いをし、対応に備えられるよう努めている。</p>	<p>ホームでは看取りの経験があります。入居者の重度化を見据えて、想定される看取りの要望に対応できるよう、支援体制づくりをすすめておられます。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアル作成。 AEDや、緊急時の対応など、研修・勉強会をしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練(日中に夜間を想定)や、通報訓練、緊急時連絡網(夜中)の徹底を行っている。地域の方も家族との連携を取る役目を行う。</p>	<p>消防署の指導による訓練を実施していますが、地域住民との合同訓練は行われていません。 町内会の会合や運営推進会議などでも、災害時のホームと地域の助け合いについて話し合われています。災害時には、ホームも地域の避難場所となっています。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩として敬う心を忘れないようにと、言葉かけや対応に注意を払うように努めている。	思いをうまく表現できない入居者には、思いを引き出し職員全体で共有することを心がけ、日々の変化をキャッチし個別支援につなげておられます。言葉使いも方言を交えながらも年長者への尊敬を忘れず、一人ひとりと向き合い話をされています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個の時間や、その他でも、思いを伝える事ができる様に密な関わりを持つよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日のスケジュール作成、また、個々の希望に沿った充実した生活ができるよう声を掛け生活のリズムへの配慮に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	日々の着替えや、外出時の洋服選び、顔、整髪等、一緒に考え支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	四季の旬の食材の活用や、週1回リクエストメニューとして、個別に献立をたてている。食材の買い物から、調理、片付けを一緒に行っている。昼食は一緒に食べている。	食事は、買い物から調理まで入居者と職員が一緒に行う日もあり、入居者の中には、家庭料理を中心に皮むきや野菜を刻むなど昔とった杵柄を発揮されています。とろみの付いたドリンクや刻み食など、支援が必要な入居者には一口ずつ声かけをするなど一人ひとりの状態に合わせた食事環境に努めておられます。天気の良い日には、テラスでの食事会が行われています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養士のアドバイスを得て、介護職員がたてている。 1日の水分量は個別記録に記入し把握に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行っている。 歯科医に相談をし助言・指導を受ける事もある。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表を記入している。個人にあったトイレの声掛け・誘導に努めている。また、紙パンツから布パンツに変更するなど、自立への支援に努めている。</p>	<p>トイレ内は、立位式と座式の便器があり、必要に応じて使い分けができます。また、ドアと内側の仕切りカーテンを設置し、羞恥心にも配慮した造りとなっています。排泄の自立を支援するため、日中はなるべくオムツなしで過ごし、一人ひとりの排泄パターンを職員全員で共有するよう努めておられます。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>定期的に自然排便できるよう、食事の工夫(乳製品糖含む)+D103、水分、運動、マッサージ等行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望や、体調、気分に対応しつつでも入浴できるようにしている。 8/1～ 夜間入浴への切换え。 また、基本毎日入浴、個で湯の全入れ替え実施。</p>	<p>今夏から、夜間帯の入浴希望者にも対応されています。浴室は個浴のユニットバスで、小窓を開放して入る人やゆっくり長湯する人などそれぞれの習慣を尊重されています。また、デイサービスセンター併設の露天風呂は、気候の良い季節で事前予約すれば入ることができます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	環境作り、日中活動、寝具、室温調整、水分補給、排泄等工夫している。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方箋を一覧にし、閲覧し確認・理解できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	センター方式の活用、1日のスケジュール等、個別に声掛け、理解に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩、買物は毎日行っている。 ドライブ、外食、地域の祭りへの参加など、希望に添えるよう努めている。	家族と一緒に馴染みの場所に外出する入居者もおられますが、認知症の進行により外出が困難になった入居者が増えています。 今春はドライブを兼ねて、三景園のあじさいを見に出かけられました。地域行事への参加や広い駐車場での金泉祭り等、ホーム周辺を中心にできる限り外出できるよう取り組まれています。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	支払時に財布を手渡し、一連の動作が出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族からの贈り物が届いた時など、お礼の電話の援助をする。また希望時に電話の援助をする。 月1回、金居報告のお手紙に1文又は1行、本人にも書いてもらうなどしている。 年賀状を出している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	清潔・衛生・美化に努めており、季節の花、飾りなど、環境作りに努めている。	リビングや廊下は広めで、手押し車や車椅子で移動する入居者もゆったりと過ごすことができます。 食卓テーブルを囲んでテレビを見たり、調理の手伝いやおしゃべりをしたり、歌ったりできる暮らしの中心となっている空間です。また、一角の畳の間が家庭を思わせる和の雰囲気となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	サンルーム、掘りごたつ、応接室、ソファなど、自由にゆっくり過ごせる場所づくりをしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みのある家具や食器、寝具等、持ち込んでいる。	居室の入り口には、たんぽぽ、なでしこなどの部屋名と表札が掛けてあり、自分の部屋を間違わないような工夫がされています。 筆筒、ベッド、ソファなど家で使用していた物が持ち込まれ、家と同じように安心してくつろげるよう配慮されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自室内、共有スペースの掃除は職員と一緒に行う。 トイレの場所が分かるように、視界に入りやすい場所へ「トイレ」「便所」と掲示している。 各居室前には「表札」を掲示している。		

V アウトカム項目(1ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(2ユニット)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を作成し、職員会議開催時確認している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事(祭り、掃除)には積極的に参加し交流を図っている 車椅子の無料貸し出しを行っている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	定期開催している運営推進会議に参加頂いている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の議事録を開示し、入居者・家族に知らせている		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括会議に出席し行政と連絡調整し情報収集している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	職員会議で話をし理解に努め自己学習の促しに取り組んでいる		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	研修等に参加したり内部研修を開催している		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	外部研修への参加、事業所内での勉強会を行い理解に努めている		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	意見をうかがいながら話し合いをし、理解・納得して頂いている		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	迅速な対応ができる様、話し合いを行っている		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回代表者会議を行い、意見交換等し反映している</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員と個々に話し、目標設定し向上心を持ちながら一緒に働ける様努力している</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>定期的に勉強会を行い迎部研修への参加に努めている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括支援センターとの交流を行っている</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>個別に関わる時間を積極的に設け、良好な信頼関係が築ける様努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	初回の麺哲司、細かく話を伺い適切な対応ができるよう努めている		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	必要とされている事に対し柔軟な対応ができる様努めている		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	食材の買物、調理、味付けやその他の家事を一緒に行い、昼食は全員で食べている		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	日常生活において「共に過ごす時間」を積極的に設けている		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。</p>	馴染みの美容院、スーパーは継続利用している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者同士が良好な関係を保てるよう、関わり合える環境や、時間を積極的に設けている		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要がある時は対応している		
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	センター方式を活用し希望発言はそのまま転記し、参考にしている		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメント作成時にセンター方式を活用し、家族からの情報収集をしている		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	業務日誌、個別記録を記入し把握に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	カンファレンス・モニタリングを定期的に行い、家族面会時には話を伺い介護計画作成時参考になっている		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	個別生活記録を細かく記入している 午前・夕方職員のミーティングで情報共有している		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	同敷地内のデイサービスの露天風呂・マッサージ器を定期的にご利用している		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	個々の状態把握に努めている		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	週1回・2週1回主治医による訪問往診がある 入居者独自に係る付けへ受診している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	報告・相談しアドバイスを得ている		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	病院に行き担当医。看護師から情報を得ており迅速に対応できる様努めている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	できるだけ早い段階で家族・主治医・職員と話し合いをし対応に備えられる様努めている		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	マニュアル作成し、消防による指導を受け、勉強会を行っている		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	避難訓練を定期開催し、地域の方にも参加を呼び掛けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	気持ち、体調を十分理解した上での言葉かけや対応に努めている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活で密な関わりや個別で話をする時間を設けている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの生活ペースに合う充実した1日が過ごせるよう、声を掛け希望に沿える様努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出時の服装選び髪型等、一緒に考え支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	四季の旬な食材を取りながら献立をたてている 食材の買い物から片付けまで一緒に行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>主治医や栄養士のアドバイスを得ている 1日の食事・水分量は個別記録に記入し把握できるよう努めている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを行っている 歯科医による助言・指導を受けている</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個別生活記録。排泄sチェック表に記入している 日中。夜間と排泄パターンを変える等工夫し、自立支援に努めている</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事の工夫。水分、運動、乳製品の摂取等行っている</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>本人の希望を伺い、また体調に配慮し、声を掛け、いつでも入浴できる様準備している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中の活動、衣服、室温調整、水分補給等、工夫している</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方箋等を一覧にし閲覧し、確認・理解できるようにしている</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>センター方式を活用・参考にし、個別に話す機会を設けている 家族より情報を得ている</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>散歩・買物は積極的に行っている 四季に合わせたドライブや外食等一人ひとりの希望に沿える様にしている</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>支払時お金を渡し、一連の動作ができる様支援している</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望時には電話を掛けている 月1回手紙を出している</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間は清潔・衛生・美化に努めており、季節の花、植物を植える等、快適な環境づくりに努めている</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>掘りごたつ、畳、サンルームで自由にゆっくり過ごせる場所づくりをしている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>馴染みのある食器類・家具を持ち込んで設置している</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自室内、共有スペースの掃除は職員と一緒にやっている</p>		

V アウトカム項目(2ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム金泉

作成日 平成 24 年 10 月 27 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	19	入居者の家族との交流が少ない	本人家族の触れ合いの時間を有意義に過ごして頂く	・事前にお知らせをし休日に開催できるようにする ・季節ごとの行事や墓参りやおやつ作り等一緒にできる工夫をする	1年
2	13	専門職としての責任と自覚が不十分	職員の質の向上	外部, 内部研修への参加を促し, 自己学習で知識を養う	1年
3	66	職員の定着率が低い	人材の確保, 職員の定着率を高める	新人職員の指導の充実と在職者の連携強化	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。